

# STAN 旧バージョンとの同時利用について

同じパソコン上で、旧バージョンと並行してご利用可能です。

(ただし Ver.11 と Ver11.1 の同時利用に限りまして例外になります。)

- STAN シリーズでは、現行バージョンと旧バージョンのプログラムは別物としてインストールされ、インストールフォルダも分かれます。それぞれのプログラムとして別々に認識され、独立していますので同時に起動することも可能です。  
但し、Ver11 と Ver11.1 のペアに限りましては、プログラムの構成上 Ver.11 がインストールされているパソコンに Ver.11.1 を共存させてインストールすることはできませんのでご注意ください。

- データは上位互換になります。一度上位バージョンで開いたデータは下位バージョンでは開けません。併用される場合はご注意ください。(次ページをご参照ください。)

# STAN

## 旧バージョン・データの利用

旧バージョンのデータを利用する際には次の事をご注意下さい。

### < データは上位互換です >

- ・STAN シリーズは、バージョンが上がる毎に 旧バージョンとデータ構成を変えています。  
一度、上位バージョンで読み込んだデータは、旧バージョンでは開く事は出来ません。旧バージョンのデータを開く時は、必ず旧データ構成の状態でのバックアップを取っておく事をお勧めします。  
また、旧バージョンのデータとは、拡張子が同じですので、同じデータ名では区別が付きません。  
旧バージョンのデータと容易に区別が付くように、フォルダ管理やファイル名の付け方を工夫して下さい。

### < 旧バージョンのデータは 一度保存を実行して下さい >

- ・旧バージョンのデータを利用する場合、必ず一度、新バージョンで開いた後、保存をして下さい。  
保存を実行する事により、新データ構成に塗り替えられます。旧バージョンのデータを、新バージョンで保存処理をしないまま解析を実行しますと、データエラーを起こす場合があります。  
同様に、旧解析データの「解析結果の図化」及び「解析結果リスト出力」を実行する場合も、必ず一度、新バージョンで保存後、新バージョンで解析を実行して、新バージョンの結果ファイルを作成してから、各結果を表示して下さい。

### < 旧バージョンのオプションのデータは利用できません >

- ・Ver.8 より以降のバージョンでは「全オプションのデータ」が STAN/3D のデータ（拡張子.dat）の内部に格納されるようになり、そのデータ構成も旧バージョンとは大きく変わっています。  
Ver.7.5 以前のバージョンのオプションのデータは、Ver.8 以降のバージョンでは利用できません。  
オプションの内容に関するデータは、再度入力をお願いいたします。